



発行所 東京都立三田高等学校 青葉会 (同窓会) 港区三田一丁目4番46号 電話 (453) 1991 (代)

# 創立六十周年と 同窓会

会長 石田 弘



## ○六十才の学校

世に多くの高等学校があるが戦後の学制改革によって生れた学校が多い。まして創立六十周年を迎えようとする学校はそう多くはないであろう。戦前の夜学が新制の定時にうつがれた学校は部内でも数少ない。こうした歴史と伝統のある母校は創立六十周年を迎えようとしている。われわれ卒業生はこの栄光ある六十周年をどのように受けとめ、どのように迎えたらいかが、皆で考えてみたい。

○わが卒業生四、九一〇名  
わが母校は女子系で充足した夜学校としては都内で最も歴史が古く、昭和七年第一回卒業生はすでに七十才を超え

た人生の大先輩である。旧制の皆さんの若き日は今は全く異なった社会情勢、想像も出来ない苦勞しい環境であった筈、社会の移り変わりもはげしく、その間を生き抜いたお方がたである。

新制高等学校になつたのが昭和二十三年、本年で満四十年を経過している。昭和二十五年から男女共学になり、当時の卒業生もすでに五十路を過ぎ、各方面で活躍している。四十代、三十代の皆さんも社会の中堅として、また家庭にあつてはその中心的役割を立派に果たしている。その数、本年三月で四、九一〇名に達している。

○同窓会  
わが母校には旧制・新制の別があるが、またそれぞれ各年度に多数の卒業生がいる。そしてクラス会、同期会など横の結びつきがあつて旧交をあたためている。同時に卒業

生は横・縦合せた大きな、全体的組織の会員でもある。それが同窓会である。

同窓会によって先輩、後輩のつながりがひろがり、時代は違つても同一校舎・教室で学んだ共通意識が母校への思いをつないでいるといつてよいであらうが、それらと共に同窓会をあらためて認識したいものである。

○この十年  
五十周年の記念式典・祝賀会が行われたのが、昭和五十四年十月二十日のごとであつた。この日多数の同窓生が集い、旧師と再会、在学当時を思い、母校の半世紀を祝つた。

登校路の両側に秋の味覚を満喫させる果実が木々の枝に色づいておられます。青葉会の皆さんお元気でしようか。ご健勝でご活躍の事とお慶び申し上げます。日頃から母校三田高校に対して温かいご支援をお寄せいただきありがとうございます。お蔭様で職員生徒ともども、本校の確たる歴史と伝統に導かれながら着々と教育の成果を挙げた

最後に今年度の会合が来年度の記念行事の準備もさることながらお祝いの自薦要望の国策に添って中止させていただくことをお許し下さい。

会への要望は多々あつたがこの十年、私達・役員一部署の小人数で運営されて来たことも事実であり、これには組織上、その他の問題が残されてはいるが、何はともあれ、来年と迫つた六十周年に向けて同窓生結集して行きたいものである。そして記念行事を是非とも成功させたい。

尚今日迄のこの繁栄は名譽会長、副会長をはじめ各先生がたのお力によることは申すまでもありませんが、特に本校ご退任後も顧問としてご協力下さる石岡先生、中村先生には何とお礼の申し上げよう御座います。同窓生一同深く感謝致して居ります。

「人生の初期時代の数年間の学歴が、その人の生涯の格を決定するのはおかしい」という主張が学歴無用論の中にしばしば見られる。まさにその通りで異議を差し挟む余地は少しもないが、それとて青春

時代の体験がその人の生涯に強く影響している事実を否定している訳ではなからう。青葉会の人達は、三日の肥沃な土壌からたんまりと栄養を吸収して基礎作りをし、その後の精進と努力によって今日の大木を作り得たように思われてならない。定時に卒業ということに、昼の生徒に比べて数倍の苦勞を重ねることが普通のよう思う。日中の仕事の疲れを背負つて授業を受けるのだから、眠気を撥ね退けるだけでも強い意志を必要とする。しかし、それがその後の人生において大いに役立っているはずで、どんな困難にも強く耐え忍ぶことができ、冷静な判断のもとに機を見て積極的な行動に移す力を身につけているように思われる。

学校で学ぶ事柄は、ドーピングに見られるような速効生ではなく、徐々に効果を上げていく体力作りに類する栄養と鍛錬でなければならぬ。

学校で学ぶ事柄は、ドーピングに見られるような速効生ではなく、徐々に効果を上げていく体力作りに類する栄養と鍛錬でなければならぬ。

「人生の初期時代の数年間の学歴が、その人の生涯の格を決定するのはおかしい」という主張が学歴無用論の中にしばしば見られる。まさにその通りで異議を差し挟む余地は少しもないが、それとて青春

時代の体験がその人の生涯に強く影響している事実を否定している訳ではなからう。青葉会の人達は、三日の肥沃な土壌からたんまりと栄養を吸収して基礎作りをし、その後の精進と努力によって今日の大木を作り得たように思われてならない。定時に卒業ということに、昼の生徒に比べて数倍の苦勞を重ねることが普通のよう思う。日中の仕事の疲れを背負つて授業を受けるのだから、眠気を撥ね退けるだけでも強い意志を必要とする。しかし、それがその後の人生において大いに役立っているはずで、どんな困難にも強く耐え忍ぶことができ、冷静な判断のもとに機を見て積極的な行動に移す力を身につけているように思われる。

学校で学ぶ事柄は、ドーピングに見られるような速効生ではなく、徐々に効果を上げていく体力作りに類する栄養と鍛錬でなければならぬ。

即座に効果を求める今の世の中で、教育の本当の効果は仲々見えにくいだけに、時に批判を浴びることもあるが、せっかちな判断でなく、少くとも十年単位で考えてもらいたいものと思つている。

今日の日本における科学技術の発達や情報化の進歩は、日常の生活を便利にし、余暇を拡大して楽しみ時間を増やしはしたが、若者にどんな影響を与えたのであろうか。

先に青葉会員の入達に見てきた困難に打ち克つ力を弱めることになつていくとすれば現在の生徒にとつて、あまりに大きな代償となつたこれらの発展を慢まなければならぬこととなる。生徒の忠情による遅刻・欠席を皆無にした

いのは本校教職員みんなの願いである。

なお、思考材料が多岐にありながら、マスコミの影響を強く受け易く、思考が画一的になり、同じ流行を無思慮に追う現代の若者の傾向は、三田高の生徒とて例外ではない。教育が教科内容の指導だけで済む世の中でないだけに、教職員力の力の結果を因つて、三田高の伝統を盛り上げていく上、来年会い出来ませぬ。

最後に今年度の会合が来年度の記念行事の準備もさることながらお祝いの自薦要望の国策に添って中止させていただくことをお許し下さい。

会への要望は多々あつたがこの十年、私達・役員一部署の小人数で運営されて来たことも事実であり、これには組織上、その他の問題が残されてはいるが、何はともあれ、来年と迫つた六十周年に向けて同窓生結集して行きたいものである。そして記念行事を是非とも成功させたい。

尚今日迄のこの繁栄は名譽会長、副会長をはじめ各先生がたのお力によることは申すまでもありませんが、特に本校ご退任後も顧問としてご協力下さる石岡先生、中村先生には何とお礼の申し上げよう御座います。同窓生一同深く感謝致して居ります。

時代の体験がその人の生涯に強く影響している事実を否定している訳ではなからう。青葉会の人達は、三日の肥沃な土壌からたんまりと栄養を吸収して基礎作りをし、その後の精進と努力によって今日の大木を作り得たように思われてならない。定時に卒業ということに、昼の生徒に比べて数倍の苦勞を重ねることが普通のよう思う。日中の仕事の疲れを背負つて授業を受けるのだから、眠気を撥ね退けるだけでも強い意志を必要とする。しかし、それがその後の人生において大いに役立っているはずで、どんな困難にも強く耐え忍ぶことができ、冷静な判断のもとに機を見て積極的な行動に移す力を身につけているように思われる。

即座に効果を求める今の世の中で、教育の本当の効果は仲々見えにくいだけに、時に批判を浴びることもあるが、せっかちな判断でなく、少くとも十年単位で考えてもらいたいものと思つている。

今日の日本における科学技術の発達や情報化の進歩は、日常の生活を便利にし、余暇を拡大して楽しみ時間を増やしはしたが、若者にどんな影響を与えたのであろうか。

先に青葉会員の入達に見てきた困難に打ち克つ力を弱めることになつていくとすれば現在の生徒にとつて、あまりに大きな代償となつたこれらの発展を慢まなければならぬこととなる。生徒の忠情による遅刻・欠席を皆無にした

いのは本校教職員みんなの願いである。

なお、思考材料が多岐にありながら、マスコミの影響を強く受け易く、思考が画一的になり、同じ流行を無思慮に追う現代の若者の傾向は、三田高の生徒とて例外ではない。教育が教科内容の指導だけで済む世の中でないだけに、教職員力の力の結果を因つて、三田高の伝統を盛り上げていく上、来年会い出来ませぬ。

即座に効果を求める今の世の中で、教育の本当の効果は仲々見えにくいだけに、時に批判を浴びることもあるが、せっかちな判断でなく、少くとも十年単位で考えてもらいたいものと思つている。

今日の日本における科学技術の発達や情報化の進歩は、日常の生活を便利にし、余暇を拡大して楽しみ時間を増やしはしたが、若者にどんな影響を与えたのであろうか。

先に青葉会員の入達に見てきた困難に打ち克つ力を弱めることになつていくとすれば現在の生徒にとつて、あまりに大きな代償となつたこれらの発展を慢まなければならぬこととなる。生徒の忠情による遅刻・欠席を皆無にした

いのは本校教職員みんなの願いである。

なお、思考材料が多岐にありながら、マスコミの影響を強く受け易く、思考が画一的になり、同じ流行を無思慮に追う現代の若者の傾向は、三田高の生徒とて例外ではない。教育が教科内容の指導だけで済む世の中でないだけに、教職員力の力の結果を因つて、三田高の伝統を盛り上げていく上、来年会い出来ませぬ。

## 昔と今と

名譽副会長 内藤 伸



時代の体験がその人の生涯に強く影響している事実を否定している訳ではなからう。青葉会の人達は、三日の肥沃な土壌からたんまりと栄養を吸収して基礎作りをし、その後の精進と努力によって今日の大木を作り得たように思われてならない。定時に卒業ということに、昼の生徒に比べて数倍の苦勞を重ねることが普通のよう思う。日中の仕事の疲れを背負つて授業を受けるのだから、眠気を撥ね退けるだけでも強い意志を必要とする。しかし、それがその後の人生において大いに役立っているはずで、どんな困難にも強く耐え忍ぶことができ、冷静な判断のもとに機を見て積極的な行動に移す力を身につけているように思われる。

即座に効果を求める今の世の中で、教育の本当の効果は仲々見えにくいだけに、時に批判を浴びることもあるが、せっかちな判断でなく、少くとも十年単位で考えてもらいたいものと思つている。

今日の日本における科学技術の発達や情報化の進歩は、日常の生活を便利にし、余暇を拡大して楽しみ時間を増やしはしたが、若者にどんな影響を与えたのであろうか。

先に青葉会員の入達に見てきた困難に打ち克つ力を弱めることになつていくとすれば現在の生徒にとつて、あまりに大きな代償となつたこれらの発展を慢まなければならぬこととなる。生徒の忠情による遅刻・欠席を皆無にした

いのは本校教職員みんなの願いである。

なお、思考材料が多岐にありながら、マスコミの影響を強く受け易く、思考が画一的になり、同じ流行を無思慮に追う現代の若者の傾向は、三田高の生徒とて例外ではない。教育が教科内容の指導だけで済む世の中でないだけに、教職員力の力の結果を因つて、三田高の伝統を盛り上げていく上、来年会い出来ませぬ。

## 63年度 母校生徒就学状況

| 学年 | 組 | 男女  |    | 計   |
|----|---|-----|----|-----|
|    |   | 男   | 女  |     |
| 1  | 1 | 26  | 5  | 31  |
|    | 2 | 24  | 7  | 31  |
| 2  | 1 | 12  | 6  | 18  |
|    | 2 | 12  | 6  | 18  |
| 3  | 1 | 12  | 3  | 15  |
|    | 2 | 12  | 3  | 15  |
| 4  | 1 | 14  | 6  | 20  |
|    | 2 | 11  | 9  | 20  |
| 計  |   | 123 | 45 | 168 |

ものと勢力している日々である

本年の総会 懇親会 11月23日の 行事取り止め

昭和五十五年以来十一月二十三日(勤労感謝の日)を総会の日と定め、総会及び懇親会を開いて参りました。昨年までに八回を数え、多くの楽しい思い出が残つて居ります。皆様のご協力による設備、バザーの開催、有名人によるアドラクションなど大変好評を得て参りました。また当日は在校の日々を思い母校に足るを運べる日として、楽しませ、喜ばれて来ました。しかし、本年は六十周年記念行事を来年に控えているので、十一月二十三日の行事は行わず、全力を「六十周年」に傾注することに幹事会で決定致しました。この点ご諒承いただき来年に期待下さるようお願い申し上げます。

皆様それぞれお会い出来ないのは非常に残念に存じます。どうかご健康にご留意の上、来年会い出来ませぬ。